

笑ってごらん

第 519 号 H. 27. 7. 2 発行

～今日のことば～

私が後悔することは、しなかったことであり、
できなかったことではない。

映画俳優：イングリッド・バーグマン（1982 年没）



◇◆雨続きである。梅雨はまだあと 1～2 週間続くのであろう。湿度が高い上にだんだん気温も高くなっていく。汗っかきには大変辛い季節がやってくる。着ているシャツが汗で肌に張り付いたりしてしまうことは毎年恒例である。 ◆シャツといえば、これまでに平成 28 年度から採用予定の新制服のデザインや素材について検討を進めてきた。これまでカンサイやオリーブといったデザイナーズブランドを採用してきたことからすると今回は控え目に捉えられるだろうが、ノーブランドのオリジナル制服である。その代わり、最大限に着心地の良さを追求し、いいモノを安価で提供できるよう準備を進めてきたのだ。結果、ずいぶん肌触りの良い素材の生地で作っていただけた。実際に完成品を着用した代



表生徒の評価も上々である。その新制服を 4 日の体験入学で発表する。中学生たちの反応が楽しみである。

◇◆楽しみといえば、もうすぐ夏休み。寮生にとっては待ちに待った夏。久しぶりに会う家族とともに、汗をほとばしらせながら、日頃できない活動に精を出し、そんな中で成長した自分を感じてもらう夏。その季節の前に、現在は期末考査で汗を流していることだろう。3 年生や専門課程 2 年生においては、この夏をどのように制するかが鍵となるであろう。 ◇◆鍵といえば、鍵を英語にしたコーヒーの会社がある。自宅で購入した同社製のコーヒー豆（粉）。コーヒー愛好者にはわかってもらえるだろうが、コーヒー豆の産地や焙煎方法によって味が異なる。一般的に、香り・コク・苦味・酸味などの基準があるのだが、ボクや家族は酸味の強いモノは好まない。だけど、コーヒー豆（特に市販のモノ）は実際に買って試してみないと味がわからないのが実状。今回買って見たはいいが、残念ながらちと酸っぱく感じる。そこで、アメリカン（通常より薄く抽出）にして飲んでみた。すると、酸味もさほど気にならなかったのも、無くなるまでは当面続けようと思っている。ちなみに、ボクの大好きな豆の種類はマンデリン。酸味が少なく、香りと苦みが強いのが特徴。飲む時の『鼻腔をくすぐる香り』がたまらない。外に出られない雨続きの日々の楽しみでもある。

～．．．～

感謝道

◇◆先日、お昼に「何食べようかな～」と考えながら車を走らせ、目についたトンカツ屋に入った。二人がけの席の壁側に座り注文を済ませ料理を待つ間、目の前のボックス席にいる 20 歳前後の男女が目に入った。男性も女性も髪を染め、どちらかと言えば派手な格好、特徴的なのは男性の脇には松葉杖が立てかけられていたこと。「イマドキの若者だな」的な印象を持った。注文した料理が運ばれてきたら、そんな二人のことなどどうでもよくなり、ひたすらトンカツをむさぼるように食べた。やはり時間に制約のある中での昼食であっても、食べたいものを食べるのが一番。キャベツのお替わりまでして大満足であった。食後に茶を喫している時、目の前の男女の動きに目を奪われた。二人とも談笑を続けながら二人の食器を重ね、テーブルの上に食べこぼしたキャベツなどを紙ナプキンで取り、ソースを拭き取り、店員が取りやすいように通路側に整然と並べたのである。その挙動がごくごく自然であり、いつもそのようにしていることがうかがえた。親から受けてきた教育であろうか、はたまた学生時代の寮生活や部活動で経験してきた習慣であろうか、いずれにしても、とても清々しい気持ちに包まれた。食器を下げに訪れた店員も「ありがとうございます！」と喜んでいて。二人は照れくさそうに席を立っていった。もちろん私も若い二人を見習って食器を重ねたのは言うまでもない。